

## 農地・水・環境保全向上対策シンポジウムinかがわ2010



活動組織の方々への情報発信の場として『農地・水・環境保全向上対策シンポジウムinかがわ2010』が、11月7日に県下各地の活動組織から432人の参加を得て、丸亀市のアイレックスで開催されました。

『農地・水・環境保全向上対策』は、水路の泥上げや、農道の草刈、景観作物の植栽など、農業用施設の保全や地域の環境を良くすることなどの活動への支援策として、平成19年度から5カ年間の制度として始まり、現在、県下各地で7,862ヘクタールの農地を対象に219の活動組織が本対策に取り組みられています。

当日は、基調講演の他に3地区の事例発表がありました。

発表のあった地区では、『農業用排水路等の施設の老朽化や耕作放棄地の拡大、さらには農業者の高齢化と後継者不足などに危惧を抱き、地域の資源や環境を次世代に伝えていくために本対策に取り組んだ。』また、『子供会や婦人会など農業者以外の参加を得て、地域の特徴を生かした活動に取り組み、施設の整備補修ができたり環境が良くなった。』などの直接的な効果の他に、『世代を超えた地域住民の交流が活発になり、昔のように地域の連帯が戻ってきた。』といったような効果も出ており、参加された皆さんにとって大変参考になったと思います。

（中讃土地改良事務所）

